

**科目名：** 社会探求 II-J1 移民の国としての日本 今まで 今から

**テーマ：** 移民の国としての日本 今まで 今から

**授業のねらい：**

日本人の数が減少する一方で、在日外国人の数は増え続けている。政府は単純労働に携わる外国人の大量導入を検討中である。既に外国人労働者なしでは生き残れない日本企業が数多くある。諸外国と日本の歴史と現在を考察して、異文化圏から来た移民が受け入れ国にどうい影響を与え、そこでどうい生活を営むかなどを調べる。そして、移民の国としての日本 その過去・現在・将来を考える。

**授業形式：**

春学期 ビデオや新聞記事を資料に、主に教員が講義する。

秋学期 関心のあるテーマを選んでグループを作り、グループ討議、発表を行う。

テキスト： 必要に応じてプリントを配布する。

**参考文献：** 適宜紹介する。

**評価方法：**

春学期 3分の2以上の出席を前提とし、期末試験で評価する。

秋学期 3分の2以上の出席を前提とし、授業への参加度、レポートなどの提出物を基に総合的に評価する。

**宿題：** 春学期末までに三つ以上の授業関連の新聞・雑誌記事を提出する。

週	講義題目
1	授業説明 担当教員の自己紹介
2	人口減少と移民労働者の導入
3	日本の現状と諸外国の比較
4	外国人犯罪の真相
5	日本における排除主義と人種差別
6	市場としての移民・出稼ぎ労働者
7	国際結婚
8	日本のスポーツと外国人選手
9	移民としての残留孤児
10	セックス産業で働く外国人
11	秋学期授業計画
12	学期末試験

担当教員と客員講師の都合、その他の理由で、講義の題目 順番を変更することもある。

Office Hour 水曜日 3 時限 252 号室

業務連絡 [ehk@gol.com](mailto:ehk@gol.com)

ホームページ <http://www2.gol.com/users/ehk/taishod>

<http://gig.tais.local/taishod> (学内のみ)

<http://viv.tais.local/taishod> (学内のみ)